

ニカラグア内政・外交定期報告(2012年1月・2月)

2012年3月

在ニカラグア日本国大使館

1. 内政

- (1) 1月9日、新国会議員の宣誓式が開催され、モラレス前副大統領を含む新国会議員計91人が出席した。
- (2) 1月9日、新国会執行委員会が結成され、ニュネス国会議長が再任された。
- (3) 1月9日、リバス最高選管委員長より、オルテガ大統領及びハレスレーベンス副大統領に対し就任証明書が授与された。
- (4) 1月10日、マナグア市内の革命広場にて大統領就任式が行われた。
- (5) 1月12日、新中米議会議員の宣誓式が行われた。
- (6) 1月18日、2012年～2013年の国会15委員会の役員及びメンバーが選出された。
- (7) 1月23日、昨年11月の大統領・国会議員等選挙に国際選挙監視団として参加したOASは、当該監視活動に関する最終報告書を公表した。最終報告書の内容は、昨年11月、OAS常任理事会において行った監視報告に沿ったものであった。
- (8) 2月6日、官報にて、オルテガ新政権における閣僚及び公社社長等に関する人事が公表されたが、前政権からの変更はなかった。
- (9) 2月21日、国会は、新中銀総裁にアルベルト・ゲバラ財務大臣を指名することを承認した。ゲバラ財務大臣の後任には、イバン・アコスタ財務副大臣が昇格した。
- (10) 2月22日、国会は2012年国家予算案を可決した。
- (11) 2月22日、昨年11月の大統領・国会議員等選挙でEU選挙監視団長を務めたジャネスEU議員が来訪し、EU選挙監視最終報告書を公表した。同議員は記者会見で、選挙プロセス自体に多くの問題があった等述べるとともに、同報告書では、選挙改革に関する24の提言を行ったことを明らかにした。

2. 外交

- (1) 1月10日、大統領就任式が行われ、海外よりフェリペ・スペイン皇太子、チャベス・ベネズエラ大統領、ロボ・ホンジュラス大統領、コロン・グアテマラ大統領(当時)、ペレス・グアテマラ現大統領、フネス・エルサルバドル大統領、アフマディネジャド・イラン大統領、バルデス・キューバ閣僚評議会副議長、台湾、エクアドル、メキシコ等の外務大臣等が出席した。日本からは山根外務副大臣等が出席した。
- (2) 1月14日、オルテガ大統領は、モリーナ・グアテマラ新大統領の大統領就任式に出席した。
- (3) 1月17日、オルテガ大統領は、EU、パナマ、ホンジュラスの新駐ニカラグア大使の信任状を受領した。
- (4) 1月19日、ヘイナルオマ(Heinaluoma)・フィンランド国会議長が当国を訪問し、ヌニェス国会議長と会談を行い、今後の経済協力のあり方等につき意見交換した。
- (5) 1月19日、当地訪問中のティメルマン亜外相は、オルテガ大統領及びサントス外相と会談し

た。

(6)1月19日～20日、当地訪問中の西村康稔衆議院議員は、オルテガ大統領、サントス外務大臣、マルティネス運輸インフラ大臣及びヌニェス国会議長等と会談した。

(7)1月25日、米国務省は、先のニカラグア大統領選挙に関するコメントを發出し、OASのニカラグア選挙監視団最終報告書は、ニカラグアの民主主義強化のための取り組みを評価する基礎を提供している、米国は、同報告書の提言の時宜を得た実施に向け、ニカラグア政府が説明責任を果たすよう、米州等のパートナーと共に取り組むつもりである等述べた。

(8)1月26日、露を訪問中のソロルサノ通商大臣一行は、リャブコフ外務次官と投資・通商に関する協定を締結した。

(9)1月26日、国際司法裁判所(ICJ)は、ニカラグアが昨年12月、ICJに対しコスタリカの実施するサンファン河沿いの道路建設の中止を求めた提訴を受理するとともに、当事国による証拠及び主張の提出期限を、ニカラグアは2012年12月19日、コスタリカは2013年12月13日と決定した。

(10)1月26日、当国外務省は、25日に米国務省より発表されたニカラグアの民主主義に関するコメントに対し、サントス外務大臣名でコミュニケを発表し、ニカラグア政府は、昨年11月の選挙において民主主義プロセスの前進と強化が認められたこと、及び、民主主義の強化と深化に関する事項は、主権を持つニカラグア国民により如何なる干渉も受けることなく決定され続けることを、再度注意喚起する旨述べた。

(11)2月4日～5日、オルテガ大統領は、カラカスにて開催された第11回ALBA首脳会合に出席した。

(12)2月10日、オルテガ大統領は、新駐ニカラグア露大使の信任状を受領した。

(13)2月13～15日、当国訪問中のウィタカー米国務次官補代理は、サントス外相、民間企業最高審議会(COSEP)、野党関係者等と会合を持った。今回の同次官補佐代理のニカラグア訪問の目的は、米国政府が昨年11月の大統領選挙後の当国の民主主義の状況についてより正確に把握することにあつた趣である。

(14)2月16日、国際司法裁判所(ICJ)は、ニカラグアーコロンビア国境問題に関し、4月23日～5月4日、係争海域の調査を行うことを発表した。

(15)2月17日より、サントス外相はスペイン、イラン、イタリアを訪問した。

(16)2月23日、当国訪問中のロボ・ホンジュラス大統領は、オルテガ大統領と会談し、組織犯罪、麻薬取り締まり及び通商関係促進について意見交換した。

(17)2月29日、オルテガ大統領は、日本の一般無償資金協力「サンタフェ橋建設計画」起工式に出席した。同起工式で、オルテガ大統領は、日本がニカラグアに対し、「サンタフェ橋建設計画」のみならず社会経済開発、教育他、広く援助を継続していることに感謝する、サンタフェ橋の建設は、コスタリカとの新たな交流・物流をもたらし、地場、近隣国との通商・経済発展に貢献するものである、等述べた。

(了)